

鹿児島県漁海況週報

平成22年6月3日発行(5月27日～6月2日)
第2356報(旧暦:4月14日～4月20日/月齢13.1～19.1/潮汐:大潮～中潮)



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218
HP: http://kagoshima.suigi.jp/

【海況】

黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

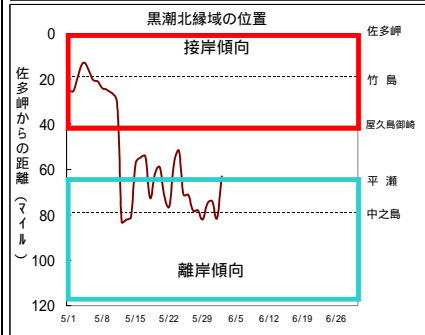
黒潮北縁域は6月2日現在、平瀬の北1マイル付近にある。

黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は6月1日現在、50マイル付近にある。

定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、黒潮流域、屋久島御崎、中之島、笠利崎、与路島、甌海峡で0.2～1.6 昇温し、その他の海域では0.2～0.4 降温した。平年比較では中之島で“かなり高め”、黒潮流域、与路島で“やや高め”、屋久島御崎で“やや低め”、その他の海域は“平年並み”となった。



表面水温

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	26.8	+1.4	+0.7	やや高め
鹿児島	21.1	-0.2	-0.5	平年並み
佐多岬	21.4	-0.4	-0.4	平年並み
竹島	22.4	-0.2	-0.5	平年並み
屋久島御崎	22.6	+1.5	-1.1	やや低め
中之島	26.6	+1.6	+1.1	かなり高め
笠利崎	24.8	+0.2	+0.4	平年並み
与路島	24.8	+0.4	+0.7	やや高め
与論	24.5	-0.3	-0.0	平年並み
甌海峡	21.8	+0.5	+0.2	平年並み
甌島西	20.7	-0.4	-	-

鹿児島 - 那覇定期客船観測は6/2～3
串木野 - 甌定期客船観測は6/2
甌島西(浮島礁)観測は6/3

【漁況】

定置網

甌島海域では、メジナ(500～800g)が100～200kg/日、イサキ(500～600g)が多い日で1トンの入網。西薩南部海域では、ヒウオ(120～200g)が400kg/日、スマ(1.1kg)が多い日で400kg、シラ(3～5kg)が200kg/日の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、マアジ(4～7cm)が多いところで600kg/日、カンパチ(1.2～1.7kg)が多いところで150～200尾/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でウルメイワシ(10cm)が1.2ト、ブリ(6～8kg)が50尾の入網。大隅半島東部海域では、週計で62統がマアジ小、カクチイワシ、マアジ仔主体に64トの入網。志布志湾南部海域では、週計でカクチイワシ、マアジ主体に15トの入網。

トビウオロープ曳網

種子島海域では、中ヒを多い日で50箱/統の漁。屋久島海域では、中ヒを35～68箱/統、セミヒを15～51箱/統、アオヒを5～22箱/統の漁。

キビナゴ刺網

甌海域では、多い船で25箱/日の漁。西薩南部海域では、多い日で20～40箱/隻の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、2～3箱/隻/日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の表に記載しています。)
業種別・漁港別水揚げ状況

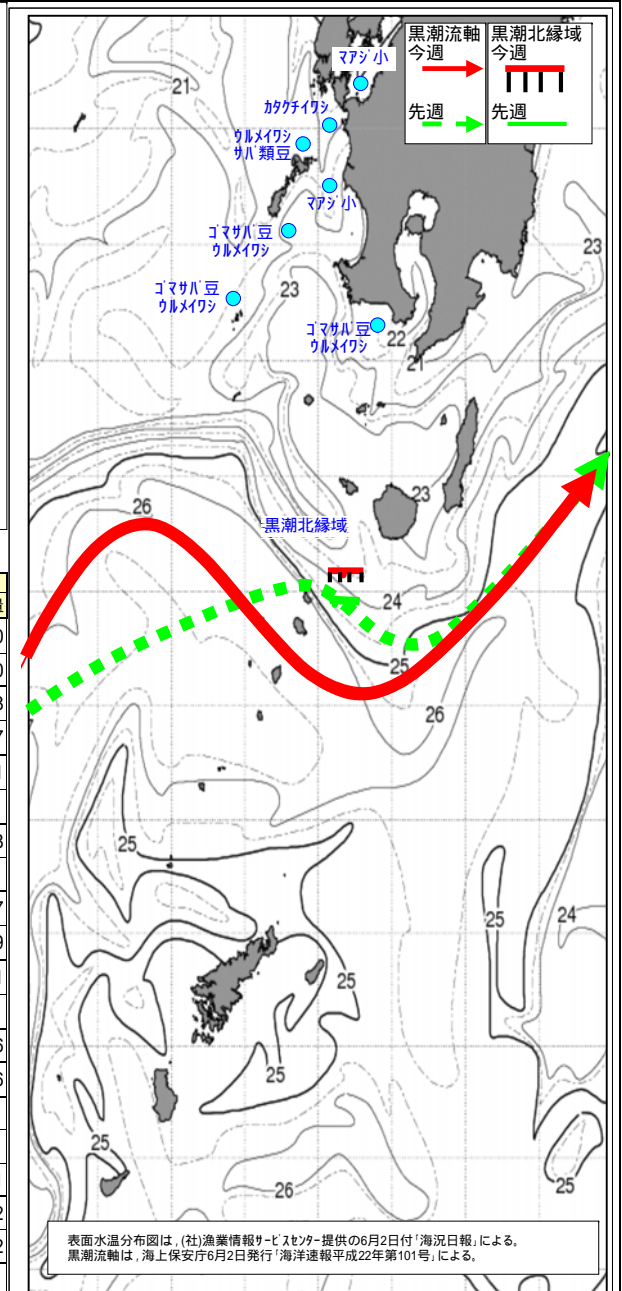
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(ト)	漁場	魚種組成(%)	1日1統	評価	前年同期(第2305報)	
								前週 隻数	前週 漁獲量
旋網	阿久根	大	0	-		-	-	0	0
		中	5	17	鍋瀬 長島 阿久根沖 串木野沖	サハ類豆29 ウルメイワシ25 カクチイワシ18	3.3	13	48
	枕崎	大	2	214	甌下 宇治	ゴマサハ豆73 ウルメイワシ27	106.8	3	176
		中	2	8	宇治 開闢沖	ゴマサハ豆81 ウルメイワシ18	4.1	7	79
	内之浦	中	0	-			-	0	1
	山川	中	0	-			-	0	-
計	大	2	214			106.8	3	176	
	中	7	25			3.5	20	127	
東海旋網	阿久根	0	-			-	0	1	
	枕崎	0	-			-	1	47	
棒受網	阿久根	4	6	阿久根沖 長島	ウルメイワシ54 カクチイワシ44	1.4	28	37	
	内之浦	0	-			-	0	0	
定置網	内之浦	62	64		マアジ小32 カクチイワシ20 マアジ仔16	1.0	68	81	
刺網	阿久根	66	12	甌	ヒナゴ100	0.2	121	35	
カツオ竿釣	枕崎	大	0	-		-	-	0	0
		小	0	-			-	0	0
	海旋	0	-			-	1	763	
	海外旋網	山川	中	0	-		-	0	6
	海旋	1	669		カツオ小79 キハダ12 カツオ中5	669.3	0	2	
	瀬戸内	小	-			-	-	-	

【パッチ網】

志布志湾海域では、フリメを製品で5トの入札があった。

その他

西薩海域では、ごち網でマダイ(1.5～2kg)を15～30kg/隻・日、チダイ(200～300g)を100kg/隻・日の漁。延縄でイトリタイ(600～700g)を20kg/隻・日、ウコトヨ(200～250g)を10kg/隻・日、チダイ(200～300g)を10～15kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、ごち網でマダイ(1～6kg)を10kg/隻・日、チダイ(150～250g)を10kg/隻・日の漁。まわし刺網でキス(40～50g)を20～30kg/隻・日の漁。大隅半島南部海域では、一本釣でゴマサハ(700～800g)を多い船で40～50尾/日の漁。志布志湾海域では、小型底曳網でハヒ(1～2kg)を20～30kg/隻・日、ウチワビ(100～200g)を多い船で10kg/日、アカマダイ(1.0～1.5kg)を多い船で40kg/日の漁。屋久島海域では、一本釣でゴマサハ(800～900g)を40～50kg/隻・日、チダイ(300～600g)を30kg/隻・日、ハマダイ(1～5kg)を30～40kg/隻・日の漁。曳縄でカツオ(1～8kg)を100～300kg/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しの日帰り操業でツヅカ胴体のみで12～15kg)を2～3ト/隻・日、3～4日操業で同40～50ト/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の6月2日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁6月2日発行「海洋通報平成22年第101号」による。